



# 市議会だより

第147号

平成23年5月1日

住みたくなるまち 鳥栖

編集発行 鳥栖市議会  
鳥栖市宿町1118  
電話 85-3525



平成23.3.12

午前6:13

## 新たな出発!

3月12日九州新幹線が全線開業し、新鳥栖駅からも初の新幹線が出発しました

3月定例会市議会  
2月臨時会

### 平成23年度当初予算を原案可決

### 総合計画基本構想の改定を可決

### 新たに議長、副議長を選出

### 一般質問...5~7

10人が質問

- ◆主な事業と予算額.....③
- ◆付議事件と議決結果.....③
- ◆常任委員会審査報告.....④
- ◆2月臨時会.....⑧
- ◆陳情.....⑧
- ◆議会日誌・編集後記.....⑧

# 3月定例会

3月定例会は、3月1日から3月23日まで開かれ、市長提出議案26件の審議のほか、10人の議員が一般質問を行いました。

## 2月臨時会で 議長、副議長を選出

2月臨時会において議長に齊藤正治議員、副議長に尼寺省悟議員が選出されました。詳しくは8ページをご覧ください。

## 一般会計予算に議論

今定例会では、平成23年度の当初予算が提案されました。

一般会計については、本会議の中で、新鳥栖駅西土地区画整理事業に関し、保留地を処分しないことで一般会計から繰出さなければならぬ金額はいくらになるのか、その繰り出しに対する国や県、その他の補助があるのか、事業の進め方としてはつきりと議会に諮ってこなかったことによつて、場合によっては事業全体に大きな影響を及ぼす可能性があることに対する認識があるのか、など

の質疑がありました。また、子ども手当の用途について市として把握しているのか、生活保護費の生業扶助の内容、音楽祭の実施の見通しや財源の調達、地方債の主なものとの償還期日についてなどの質疑がありました。

## 予算に対し 修正案提出

平成23年度一般会計予算に対しては、新鳥栖駅西土地区画整理特別会計繰出金と勤労者協議会補助金を減額する修正案が2名の議員より提出されました。

本会議において審議の結果、修正案は賛成多数で原案のとおり可決されました。

## 当初予算と補正予算 全て原案可決

平成23年度の特別会計予算6件、事業会計予算2件も委員会に付託され、審査

の中で、多くの議論がありました。

本会議での審議の結果、一般会計、新鳥栖駅西土地区画整理特別会計、水道事業会計の3予算は賛成多数で、その他の予算は全会一

## 総合計画 基本構想改定案を可決

昨年12月定例会で提案され、総合計画基本構想特別委員会に付託されていた、鳥栖市総合計画基本構想の改定は、1月17日から19日に開かれた特別委員会において審査が行われました。

審査の中で、第5次総合計画の検証と第6次総合計画の進捗管理等を行っているのか、「市民協働を推進するまち」というまちづくりの方向性が市民が目指すべき姿と合致するのか、「人権」という文言表現が必要ではないか、広域連携についての具体的な検討状況と「州都にふさわしいまちづ

致で原案のとおり可決されました。

また、平成22年度の補正予算案が11件提出されましたが、すべて全会一致で原案のとおり可決されました。

また、総合計画とマニフェストと整合性を図ること、少しでも市民がわかりやすい計画とすることなどの要望がありました。

これらの意見の対応についてはこれからの基本計画の見直しの中で尊重するよう、特別委員会の総意として強い要望がありました。

審査の結果、特別委員会においては賛成多数で原案のとおり可決されました。本会議では、この議案に対する反対討論がありましたが、賛成多数で原案のとおり可決されました。

## 平成23年度 一般会計予算

# 212億551万6千円

前年度比マイナス4.4%・9億8,565万6千円減

項目	金額 (千円)	割合 (%)
市税	108,906,177	51.4%
歳入	26,890,000	6.1%
歳出	46,258,977	21.8%
民生費	80,333,977	37.9%
公債費	27,626,377	13%
衛生費	23,515,266	11.1%
総務費	21,866,666	10.3%
教育費	18,490,533	8.7%
土木費	17,282,755	8.2%
その他	22,794,678	10.7%
国県支出金	15,000,000	7.3%
地方交付税	26,153,672	12.3%
繰入金	2,346,479	1.1%

### 【主な事業と予算額】

- 住民基本台帳法改正システム化等委託料 1,708万3千円
- 地域交流推進事業等 450万円  
サガン鳥栖を通じた地域交流、まちづくりのため、地域交流推進事業等を実施するもの
- 地域コミュニティ推進事業 541万9千円
- 老人福祉計画策定経費 207万2千円
- ごみ減量化・リサイクル対策経費 1億5,652万6千円
- 森林整備加速化・林業再生事業 1,338万1千円  
木材の利用拡大を目的として、県産材を使用した公共施設等の整備に対し、補助金を交付するもの
- 緊急雇用創出事業 9,976万4千円
- 中小企業小口資金融資預託金 3億円
- 橋梁長寿命化事業 615万円  
市管理の橋長15メートル以上の90橋の橋梁長寿命化修繕計画を策定するもの
- 地域公共交通活性化・再生総合事業 2,928万4千円
- 消防ポンプ自動車購入費 1,716万1千円
- 教科書改訂用指導書等 1,700万円
- 放課後子ども教室事業 318万7千円
- 長崎街道観光資源整備事業委託料 1,093万7千円
- 音楽祭委託料 1,500万円

議会人事		市長提出議案		平成22年度補正予算		平成23年度予算		件名	議決結果					
議会運営委員の選任〔中川原豊志議員〕	議会運営委員の辞任〔成富牧男議員〕	人権擁護委員候補者の推薦について〔松隈俊久氏（今泉町）〕	固定資産評価審査委員会委員の選任について〔大石俊一氏（宿町）〕	固定資産評価審査委員会委員の選任について〔山内勝伸氏（曾根崎町）〕	固定資産評価審査委員会委員の選任について〔長崎本線鳥栖・肥前麓間自由通路新設工事委託の精算に伴う協定金額の変更〕	緊急経済対策として市内中小企業者への制度融資の拡充を図るもの	中小企業小口資金融資条例の一部改正			九州新幹線減濁水被害対策基金条例	特別会計（国民健康保険、老人保健、後期高齢者医療、農業集落排水、鳥栖駅東土地区画整理、新鳥栖駅西土地区画整理、産業団地造成）、水道事業会計、下水道事業会計	一般会計	一般会計、新鳥栖駅西土地区画整理特別会計、水道事業会計	特別会計（国民健康保険、後期高齢者医療、農業集落排水、土地区画整理、産業団地造成）、下水道事業会計
異議なし（全会一致）	許可（全会一致）	異議なし（全会一致）	同意（全会一致）	同意（全会一致）	原案可決（賛成多数）	原案可決（賛成多数）	原案可決（賛成多数）	原案可決（賛成多数）	原案可決（賛成多数）	原案可決（賛成多数）	原案可決（賛成多数）	原案可決（賛成多数）	原案可決（賛成多数）	原案可決（賛成多数）

## 3月定例会の付議事件と議決結果

# 常任委員会 審査報告概要

一般会計予算の委員会審査の概要は次のとおりです。(予算額は3ページ参照)

## 地域・まちづくりの啓発

### 総務

**総務課** 予算規模の増加と人事管理、防犯カメラの設置状況、気象情報収集業務委託の内容などについて質疑がありました。

**総合政策課** 筑後川流域ク

**情報管理課** 広報費の広告

**料、電子自治体への取り組み**

**と現状などについて質疑**

**がありました。**  
**財政課** 自動車取得税交付金の減額要因、地方交付税

の算定方法などについて質疑がありました。

**契約管財課** 庁舎管理委託料の内容などについて質疑がありました。

**出納室** □座振替手数料の推移などについて質疑がありました。

**市民協働推進課** 市民に対する地域づくり・まちづくりの啓発、交流事業の市民に対する広報や市民全体での交流などについて質疑がありました。

**市民課** 外国人登録事務委託金に対する国への要望などについて質疑がありました。

**国保年金課** 年金制度や免除に関する啓発活動の状況、年金裁定請求などについて質疑がありました。

**税務課** 法人市民税予算額の算定の考え方などについて質疑がありました。

**建設課** 草刈委託料の委託先とその内訳、交通安全指導員の定数や報酬額、木造住宅耐震診断補助の現状分析、他の自治体の状況や今後の対応などについて質疑がありました。

**都市整備課** 地域公共交通

## 新鳥栖駅周辺 施設の維持管理

**建設課** 草刈委託料の委託先とその内訳、交通安全指導員の定数や報酬額、木造住宅耐震診断補助の現状分析、他の自治体の状況や今後の対応などについて質疑がありました。

**都市整備課** 地域公共交通

**自殺対策の実施活動**

**社会福祉課** 地域福祉計画の策定委員の構成や業務委託のスケジュール、計画の中での老人福祉センターの位置づけ、まちづくり協議会との整合性などについて質疑がありました。

**子ども育成課** 私立保育所運営費負担金の内容と待機児童数、公立保育所の民営化などについて質疑がありました。

**健康増進課** 子宮頸がんワクチン予防接種の対象年齢の拡大理由や安全性の啓発

**教育委員会事務局** 音楽祭の業務の進捗状況、音楽祭に対する文化庁等への補助申請、寄付や企業協賛金の状況、小中一貫教育や謝金に関する予算の内容などについて質疑がありました。

**環境対策課** 環境基本計画策定業務の内容、斎場施設運営業務の内容、電動生ごみ処理機購入費補助金の減額理由と今後の普及促進策、資源物回収広場の今後のあり方などについて質疑がありました。

**農林課** 生産組合運営委託料や生産組合長業務委託料算定の内訳、老朽農業用水路の工事箇所等、農地・水・環境保全向上対策事業における共同活動の参加状況、林業業務に対する執行体制などについて質疑がありました。

**上下水道局** 市内の汲み取りトイレの戸数、浄化槽設置費用と補助額などについて質疑がありました。

**経済**

**商工振興課** 雇用促進住宅に起因する電波障害対策とその財源、電波障害対策に係る今後の経費、鳥

**栖市勤労者協議会の活動内**

**容と補助根拠、企業信用調査委託料の調査内容等、ふるさと雇用再生特別交付金事業、緊急雇用創出事業交付金事業の雇用対象者、雇用形態と本交付金事業終了後の雇用継続、職業訓練と訓練後の実情、市内事業所の経営環境等の実態の確かな把握と積極的な商工行政の取り組みなどについて質疑がありました。**

**環境対策課** 環境基本計画策定業務の内容、斎場施設運営業務の内容、電動生ごみ処理機購入費補助金の減額理由と今後の普及促進策、資源物回収広場の今後のあり方などについて質疑がありました。

**農林課** 生産組合運営委託料や生産組合長業務委託料算定の内訳、老朽農業用水路の工事箇所等、農地・水・環境保全向上対策事業における共同活動の参加状況、林業業務に対する執行体制などについて質疑がありました。

**上下水道局** 市内の汲み取りトイレの戸数、浄化槽設置費用と補助額などについて質疑がありました。

# 一般質問

10人の議員が一般質問を行いました。  
(掲載は、発言順ではなく、内容別です)

## 市長選挙の投票率低下について

質問 佐藤忠克議員

今年2月20日に執行された市長選挙で4割を超える有権者が公民権の行使を放棄された。放棄の理由のいかにかわらず重く受け止めるべきであると捉える。また、放棄者の思いを市政運営、行政運営にどのように反映なさろうと考えておられるのか。橋本市長の所見を伺う。

■真摯に受け止めなければならぬ

■答弁 約4割の方が投票されなかつたことについては、まことに残念であり、

真摯に受け止めなければならぬと考えている。

私は、まちづくりの方向性の一つとして、市民の皆様が自然豊かで、災害が少なく、下水道などの環境が整い、子育てにも安心していつまでも健康で生き生きと働けるまち、誰もが住みよさが実感できるまちを目指したいと考えている。そのことを実現することによって、投票されなかつた皆様も含め、鳥栖市に住みたい、住み続けたい、住んでみたいという思いを持つていただくようなまちにしていくことが私の務めであると考えている。

その他質問◆生活保護行政



57.4%だった市長選挙の投票率

## 2期目の市長退職金は

質問 松隈清之議員

1期目は市長退職金を廃止すると公約も挙げ、市長選挙の前には自身の市政報告でも実現したとの成果を広報しているが、2期目は退職金を受け取るつもりがあるのか。

市長選挙にあたり新たなマニフェストが掲げられたが、1期目のマニフェストは今後どうなるのか。実現するのか、あるいは終わった公約となるのか。

## 橋本市政2期目の所信を問う

質問 太田幸一議員

橋本市政2期目の所信を伺う。マニフェストに「子育て応援で、若い人が住む鳥栖に」とあるが、子育て世代の若い夫婦にとって、賃貸住宅の家賃が家計の重荷となり切実である。家賃補助の考えはないか見解を問う。

■既存の退職手当の条例に従った対応になる

■答弁 2期目の退職手当の取扱いについては、既存の特別職の退職手当の条例に従った対応になるものと考えており、もうつかもわからないかということについては、いただきますということである。

マニフェストについては、1期目の項目はこれでおしまい、2期目は2期目で新たにスタートですよ、ゼロからのスタートですよ

■これからも全力で取り組みむ所存である

■答弁 市民の皆さんの健康支援、子育て支援、教育環境の充実など、市民が直面している生活上の問題・課題を最優先に考え、解決できる市政の運営に意を尽くすことで、市民の皆様、鳥栖に住みたい、住み続けたいと思っただけ「鳥栖に住んでいます」と誇りを持って言っただけのようなまちとなるよう、こ



市長2期目の所信は

と行うことではないと思っております。それらについてはこれからも検討を重ねたい。

れからも全力で取り組む所存である。

マニフェストに掲げている医療費助成等の子育て支援策の実現を最優先し、子育て世代に対する家賃補助については、その後の検討課題としたい。

### 鳥栖市・基山町 合併への取り組みは

質問 藤田昌隆議員

鳥栖市、基山町との合併に向けて、相互執行部、市民同士の連携が少しずつなされているとは理解しているが、具体的な現在の進捗状況と今後の新規連携事業について伺う。要望として、首長同士の会議の場を多くもっていただきたい。

■ 一体感向上のための連携事業の実施を推進

答弁 具体的な連携事業は、市町境での防犯パトロールの共同実施、図書館の相互利用、両市町職員の共同研修、サガン鳥栖応援ポロシャツを共同してつくって着るなど取り組んでいる。

今後、検討を進めている事業は、能力開発職員研修の連携、危機管理の連携、広報誌・ホームページ事業の連携、子育て支援総合センターネット事業の連携、子育て支援事業の連携、秋光川清掃ボランティア事

### 保留地の決定、 処分につき問題あり

質問 江副康成議員

新鳥栖駅西區画整理事業内保留地の処分に関して、当該条例が審議された平成20年3月議会において、保留地は他に売却のうえ、事業費に充てるというスキームであった。しかし、平成20年5月27日、市長決裁によりその条例は骨抜きとなり、重粒子線施設用地と決定された。区画整理審議会でも、重粒子線建設地のた

めの保留地決定では問題だと委員から異論が出された。保留地は地権者の共有物なので、権限なくして使用貸借された保留地上のSPC（九州重粒子線施設管理株式会社）の建築行為は現在違法状態となると思うが、SPCに保留地を購入してもらえないのか。

■ SPCの申し出があれば可能である

答弁 仮にSPCの申し出があれば、停止条件付売買契約を結ぶことは可能であ

業、共同開催イベントの検討、体育施設の相互利用、栖の宿の相互利用、文化会館・町民会館の連携活用、軽バイクのご当地ナンバーの共同製作といったものである。

その他質問 ◆ ラ・フォル・ジュルネ音楽祭／外町・昌町線の交通規制



相互利用が可能な基山町立図書館

その他質問 ◆ 新鳥栖駅前まちづくりの方向性／山浦PAのスマートインター化する。

### 子どもの医療費 助成制度の拡充を

質問 成富牧男議員

選挙公約の子どもの医療費無料化について、その具体的内容と実現の道筋は。基山町では、小学校卒業までの無料化（平成23年度から）が決まった。鳥栖市でも早期に実施すべきと考えられるかどうか。償還払いをやるため、病院等の窓口での無料化はできないのか。

■ 鳥栖市単独での助成方法変更は困難である

答弁 小学生の通院医療費無料化は、まず、第1段階として、1年生から3年生を対象としての実施を考えている。試算では小学生の通院医療に対し全額助成を行なった場合、医療費助成額は約9590万円の増額となり、多額の経費を必要とするため、段階的实施を考えている。

償還払い方式の変更は、佐賀県国民健康保険団体連合会のコンピュータシステム改修を含む事務手続等に変更が生じるため、多額のシステム改修費が必要になること、各医療機関が鳥



償還払いは子ども育成課での手続きが必要

栖市関係分だけのレセプトを選別して、連合会へ送付しなければならぬことから、連合会と佐賀県医師会より、助成方法の変更は県内市町一斉実施を要望する旨の提示があつており、鳥栖市単独での助成方法の変更は困難である。

その他質問 ◆ 住宅リフォーム助成制度の創設／水道料金の引き下げほか

### ラ・フォル・ジュルネ 鳥栖について

質問 中村圭一議員

音楽祭のために17名もの職員を配置したり、2千万円を目標に協賛金を集めたりしているとのこと。そんな余裕があるのなら、本市で受け入れる約2千5百人の東日本大震災被災者が安心して、できるだけ快適に移住できる環境の整備に、今は力を注ぐべきとの意見があるが。

### 地域の教育文化の向上が 主な目的である

答弁 震災の復興などの協力に関しては、今後長期にわたり、様々な協力を継続していくことが必要であると考えている。今回の音楽祭の実施は、九州新幹線の開通を契機に、ラ・フォル・ジュルネ鳥栖「熱狂の日」音楽祭2011を活用した、地域の教育文化の向上が主な目的である。本物の音や演奏する姿、演奏者の皆様との交流を通して文化・教育の醸成が高まることは、市の行政にとりたいへん望ましいと考えている。

その他質問 ◆東日本大震災

### ホテル建設にともなう 下流域の冠水対策は

質問 酒井靖夫議員

過去には国道3号線からの濁流により下の団地は床下浸水の経過がある。またこの下流域で冠水が発生しているが、どのように対応してきたのか。ホテル建設にともない、新たに今後は被害が大きくなること予想される。どのように検討し対策をするのか。

### 抜本的な水路改修等の対策は困難

### 日本一の 教育とは

質問 中村直人議員

鳥栖つ子には日本一の教育を受けさせたい。学力、英会話力、「コミュニケーション能力をきちっと身につけさせたい」とある。今日、礼儀作法や人への思いやり、人を大切にする心が少し足りないのではと思うが、情操教育などの考えはないか。

### 情操教育の視点も入れながら構築したい



ホテル建設地の下流域の水路

答弁 市道姫方・基里中線の交差点において、市道からこの水路に流入する側

### 新産業エリアの 開発進捗状況は

質問 光安一磨議員

産業用地不足との観点から新産業エリアが決定された。基本計画も策定された。基本同意書も交わされ、現地測量、地質調査、環境調査も済んでいる。しかし、そ

溝の上流側で、平成20年度に雨水の一部がこの水路へ流入しないようショートカットを行い、水位上昇の抑制を行っている。

また、下流域の水路周辺の状況は、水路両端に家屋、宅地が隣接しており、現状において、抜本的な水路改修等の対策は困難であり、水路のかさ上げ、水路下流付近でのパイパス等、水位上昇に対する方策を、今後、現地の状況を確認し、検討したい。

その他質問 ◆日清製粉鳥栖工場の撤退

の後の進展が見えてこない。税の投入もなされている。現況説明と今後の取り組みを問う。

### 事業の速やかな実現に向けて最大限努力したい

答弁 現在の状況は、県による規制関係の調整、国との協議の段階であり、農地の転用についての事前協議を九州農政局と行っているところである。農業振興地域の集団農地であるため、農政局との協議は、本事業スケジュールの中において最も重要で最も険しい工程であると認識しており、ある程度の時間を要するものと考えている。また、国との調整であるので、慎重に対応していかなければならないと判断している。

今後の見通しとしては、農政局との協議の調整の見込がたつ時期がきたら、用地取得を前提とする事業同意の取得に向けて地元調整を行いたい。その後、用地買収、実施設計、開発に必要な諸手続を経て造成工事へと進みたい。

その他質問 ◆公有財産／教育行政ほか

# 陳 情

## ■要望書

九州北部たばこ販売協同組合連合会  
 会長 永田 潔治  
 鳥栖たばこ販売協同組合  
 理事長 松隈 幸佐

[一律的な全面禁煙の推進でなく、分煙施設推進に主眼をおくことを要望]

## ■「国による乳幼児医療費無料制度の創設を求める意見書」に関する陳情書

佐賀県保険医協会 会長 藤戸 好典

## ■拡大生産者責任（EPR）及びデポジット制度法制化を求める意見書の採択について

環境自治体会議共同代表 北海道士幌町長 小林 康雄  
 東京都日野市長 馬場 弘融  
 宮崎県綾町長 前田 穰  
 ほか4名

## ■社会保障制度及び税制に関する要請書

退職者団体連合鳥栖三養基地域協議会 会長 原 敏行

## ■住宅リフォーム助成制度の創設を求める要請書

佐賀県建設労働組合連合会 執行委員長 水田 実  
 鳥栖三養基建設労働組合 組合長 山内 勝伸  
 鳥栖三養基左官組合 組合長 古川 和夫

# 議会日誌

## — 1月 —

- 13日・14日 特別交付税陳情（東京都）
- 17日～19日 総合計画基本構想特別委員会
- 17日 市議会だより編集委員会
- 21日 佐賀県市議会議長会（嬉野市）
- 31日 議会運営委員会  
議会改革検討会

## — 2月 —

- 4日 議会運営委員会
- 10日 議会運営委員会
- 16日 広域行政圏市議会協議会総会（東京都）
- 17日 全国高速自動車道市議会協議会総会（東京都）
- 21日 議会運営委員会
- 22日 議会運営委員会
- 23日～28日 2月臨時会
- 25日 鳥栖・三養基西部環境施設組合議会  
鳥栖・三養基地区消防事務組合議会  
鳥栖地区広域市町村圏組合議会

## — 3月 —

- 1日～23日 3月定例会
- 2日 市議会だより編集委員会
- 23日 市議会だより編集委員会
- 24日 議会運営委員会
- 30日 議会運営委員会



尼寺省悟副議長



齊藤正治議長

議長、副議長を  
新たに選出

原康彦前議長が2月1日に議員辞職されました。辞職により空席となっていた議長選出のため、2月23日から28日まで臨時会が開かれました。この臨時会において、投票により齊藤正治議員（自民クラブ）が議長に選出されました。また、酒井靖夫副議長の辞任が許可され、尼寺省悟議員（日本共産党議員団）が投票により副議長に選出されました。



中川原豊志議員

新議員に  
中川原豊志氏

2月20日に行われた市議会議員補欠選挙で、中川原豊志氏（幸津町）が当選されました。中川原議員は議会運営委員会と文教厚生常任委員会に、会派は政友会に所属となりました。

## ■鳥栖市議会への視察来庁（1月～3月）

11市町議会 [来庁者合計51人]

- |           |          |
|-----------|----------|
| 守山市（滋賀県）  | 名取市（宮城県） |
| 赤穂市（兵庫県）  | 柏市（千葉県）  |
| 吉野川市（徳島県） | 南城市（沖縄県） |
| たつの市（兵庫県） | 伊賀市（三重県） |
| 野田市（千葉県）  | 舞鶴市（京都府） |
| 寒川町（神奈川県） |          |

## 編集後記

東日本大震災は、亡くなられた方、行方不明の方、2万7千人という未曾有の大惨事となり、さらに、原発事故が重なり、日本は大丈夫かと愕然としました。しかし、がんばろう日本を合言葉に日本国民が立ち上がり、しかも、海外135カ国の皆様からの温かい支援、世界をあげての支援が行われ、本当に感謝の気持ち湧き上がってきました。一刻も早く被害にあわれた皆様、安心して暮らせるよう願ってやみません。

（藤田昌隆）